

テーマ	全経対策（Ⅱ）：値引・返品・諸掛り・帳簿・現金・現金過不足・当座預金・社債				
学籍番号					氏名

1. 次の取引について仕訳を示しなさい。（全経 3 級対策）

- (1) 八尾商店から掛けて仕入れていた商品 200 個（@10,000 円）のうち、本日、8 分の 1 を戻し、代金は掛け代金から控除した。
- (2) 花岡商店へ掛けて販売していた商品 30 個（原価@5,000 円、売価@7,500 円）のうち、3 個が破損していたため、本日、返品されてきた。
- (3) 仕入先楽音寺商店から商品 15 個（@20,000 円）を仕入れ、代金のうち 100,000 円は現金で支払い、残額は掛けとした。なお、引取運賃 5,000 円については現金で支払った。
- (4) 得意先北本町商店に商品 800,000 円を売り渡し、代金は掛けとした。なお、当店負担の発送運賃 6,000 円については現金で支払った。
- (5) 現金の実際有高が帳簿残高より 39,000 円不足していたので、かねて現金過不足勘定で処理しておいたが、その後原因を調べたところ、旅費交通費の支払額 25,000 円、通信費の支払額 18,000 円および手数料の受取額 7,500 円が記帳もれであることが判明した。
- (6) 経法商店は、阪南商店から商品 400,000 円を仕入れ、引取運賃 3,000 円とともに小切手を振り出して支払った。なお、当座預金の残高は 250,000 円であったが、借越限度額 3,000,000 円の当座借越契約を結んでいる。ただし、当座取引は、当座預金勘定と当座借越勘定で処理している。

日付	借方	貸方
(1)	買掛金 250,000	仕入 250,000
(2)	売上 22,500	売掛金 22,500
(3)	仕入 305,000	買掛金 200,000 現金 105,000
(4)	売掛金 800,000 発送費 6,000	売上 800,000 現金 6,000
(5)	旅費交通費 25,000 通信費 18,000	受取手数料 7,500 現金過不足 35,500
(6)	仕入 403,000	当座預金 250,000 当座借越 153,000

テーマ	全経対策（Ⅱ）：値引・返品・諸掛り・帳簿・現金・現金過不足・当座預金・社債						
学籍番号						氏名	

2. 次の一連の取引について仕訳を示しなさい。（全経 2 級対策）

- (1) 平成×3 年 4 月 1 日に社債額面@100、年利率 4.5%（利払日は 9 月および 3 月の末日）、償還期限 5 年の条件で、額面総額 30,000,000 円を発行価額@98.5 円で発行し、払込金額は当座預金とした。なお、社債発行に要した費用 400,000 円は現金で支払った。
- (2) 平成×3 年 9 月 30 日、第 1 回の利払日につき、社債利息を小切手を振り出して支払った。
- (3) 平成×4 年 3 月 31 日、第 2 回の利払日につき、社債利息を小切手を振り出して支払った。また、本日決算日につき、社債に対して、償却原価法（定額法）を適用する。また、社債発行費は繰延資産として計上し、社債の償還期限内にわたって定額法により償却する。
- (4) 平成×8 年 3 月 31 日、上記の社債が本日満期となったので全額償還し、最終回の利息とともに小切手を振り出して支払った。なお、本日は決算日であるため償還に先立ち、社債および社債発行費について必要な償却を行う。

日付	借方	貸方
(1)	当座預金 29,550,000 社債発行費 400,000	社債 29,550,000 現金 400,000
(2)	社債利息 675,000	当座預金 675,000
(3)	社債利息 765,000 社債発行費償却 80,000	当座預金 675,000 社債 90,000 社債発行費 80,000
(4)	社債利息 765,000 社債 29,910,000 社債発行費償却 80,000	当座預金 30,675,000 社債発行費 80,000